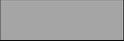


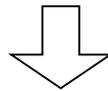
アンケート結果を受けての「学校としての考察・今後の方針」

1 データ結果から

- アンケート結果では、網掛けの部分  が特徴的なものを示しています。それを見ると、「1・子どもは、学校生活を楽しんでいると思う」95%、「20. 学校は、子どもたちの様子や各種情報を様々な手段で適切に伝えていると思う」91%を筆頭に、多くの項目で「4・◎よくあてはまる」「3・○大体あてはまる」評価両方あわせて80%を超えており、学校運営全般に関しては、おおむね保護者の方々の満足感が高く、望ましい状況にあると言えます。
- 一方、学習面の「9. 子どもは、家庭学習の習慣が身につけてきている」、「11. 子どもの学力は、以前と比べ、少しずつでも向上していると思う」の二つの項目は、「2・△あまりあてはまらない」「1・●ほとんどあてはまらない」の評価合計が40%を超えており、改善すべき大きな課題であると言えます。
また、 はついてはいないものの、「5. 学校には気軽に相談できる雰囲気がある→△が25%」「家庭・子どものケータイやスマホ、ネットゲームなどの使用について、家庭での約束事が決められている→△が23%」の二点も課題と言えます。

2 コメントから

- 「○」と評価していただいた点については、職員一同うれしく思います。やはり、やってきたことが支持され、評価されるととてもうれしいですし、やりがいを感じます。意欲もさらにわきます。今後も、子どもたちがより良く成長していけるために、頑張ります。
- 「△」の評価をいただいた点については、職員一同真摯に受け止めたいと思います。ふだん、自分たちだけでは気づかないような貴重なご指摘をいただき、ありがとうございます。ただ、できることとできないことがありますので、すべてのご意見、ご要望どおりにというわけにはいきませんが、同様の意見や指摘が複数あったものについて、改善できるものは早めに改善したいと考えております。



お寄せいただいたご意見についての回答（同様の意見が複数あったもの、周知しておきたいもの）は、下記をご覧ください。

3 学校の今後の方針

【学習面について】

- 夏休み中の定期テストについては、昨年度の行事編成段階で7月～9月の行事のたてこみ具合を鑑みて設定したのですが、実際実施してみてご指摘いただいたように、デメリット面も多々見られました。したがって次年度は、7月～9月の行事の調整をし、定期テストを夏休みに実施しなくてすむよう検討したいと思います。
- 1クラスを二つに分けて授業を行う少人数指導は現在、英語で全学年、数学で3学年のみ実施しています。少人数指導の授業では、人数が少ないため、「質問しやすい・個別のつまずきにアドバイスしてくれる」などの生徒の声が多く聞かれ、学習効果も高まっています。できれば、すべての学年・すべての教科で少人数指導ができるとういのですが、教科担当教員の数の関係でそれは難しいです。現在、英語が全学年で少人数指導が実施できているのは、英語担当の教員が4名いるからです。（この学校規模で、英語が全学年で少人数指導できているのはある意味恵まれています。他校ではなかなかできません。）一方、数学担当の教員は2名しかおりませんので、入試を控えた3年生のみ優先的に少人数指導にあてているところです。ご理解ください。
また同様に、1年数学を複数の教員で受け持つ形になっています。これは、教員の持ち授業時数の関係によるもの（他校でも多々あるケースです）ですので、ご理解いただきたいと思います。
- 「学力向上」は本校の重要課題の一つです。「より分かりやすい授業づくり」に向けた教員の授業改善の努力を今後も続けるとともに、学活での「効果的な学習の仕方」の指導や、「家庭学習の点検とやり方の助言」など、学習指導委員会組織を中心とした「全校体制による学力向上の取組」を実施していきたいと思ひます。
学力向上に関しては、教員の努力と同時に「生徒の意識改革」が必要です。「目標は何か、何をどのように、どれだけやれば目標を達成できるのか」を生徒に自覚させていく必要があります。「学習時間のランキング」はその意識改革・意識付けのひとつとして



取り組んでいます。学習時間はいわば「学習の量」。「量」をこなしていくうちに、「能率」を考え、「質の向上」に至るーと私たちは考えています。家庭学習の点で言えば、各ご家庭の協力が必要です。ぜひ、上のような学校の意図をご理解いただき、同一歩調で子どもに指導していただければ、と思います。成果は必ず出ると考えます。

【生活面について】

- 生徒のあいさつについて。「五中ファイブアクション」で取り組んでいるように、生徒のあいさつの良さを、本校の自慢の伝統にしたいと学校では考えていますので、「今ひとつである」というご指摘を真摯に受け止めたいと思います。丁度、先日発足した新・生徒会本部役員の会長が「もっと、あいさつに力を入れよう」と全校生徒に問題提起をし、訴えたばかりですので、こうした生徒会活動や各部活動等と連携して全校をあげてあいさつを励行し、『あいさつができる五中生』を育てたいと思います。各ご家庭でも、ご指導いただければ幸いです。



- 雨の日の迎いの車と交通安全について。雨の日の車の大混雑に関しては、「抜け道がなく一方通行で車を流せない。そのため、Uターンするしかなく、その手間の分さらに車が渋滞する」という五中の立地条件によって、学校でも対応に大変苦慮し、教育委員会にも相談しているところです。まずは何よりも生徒の安全第一ですので、Uターンする車を意識して通るように指導を強化します。

今後、冬日課になると、雨天に限らず下校時間が保育所の迎いの時間と重なり、車と自転車の接触の危険が懸念されます。対処の方法として現在、市役所・地元の区長さんとも相談し、下校の自転車は自転車置き場前の農道ルートを通して、車と接触しないようにすることも本格的に検討しています。正式に決定しましたら、改めてお知らせいたします。



【部活動について】

- 部活動に関しては、職員が皆その道の専門家とは限りませんので、すべてがすべてご期待に沿えるというわけにはいきませんが、物事に取り組む姿勢やチームワークの大切さ、達成感などを生徒が感じられるように努めたいと思います。また、日ごろより大会や試合等の送迎にご協力いただいている皆様に、深く感謝申し上げます。急な送迎の依頼がないように、予定等はできる限り早めにお知らせするように努めます。(ただ、大会はともかく、練習試合などは急に入る場合もありますので、その点ご理解いただきますようお願いいたします。)

【学校と家庭の連携について】

- 「下校時間が早い日」や「コンクールの作品提出日」などを通信に掲載することは、十分可能ですのでぜひそうしたいと思います。また、授業参観等の行事の案内文書については、できるだけ早くお知らせできるようにしたいと思います。(ただし、先日配付した文化祭の案内などのように、当日のスケジュールが掲載されるものについては、すべての情報が出揃うまで時間がかかりますので、1カ月前にはいかなない場合もあります。こうした場合でも、「9月～12月までの行事予定」や「〇月の行事予定」といった通信も出しておりますので、前もっておさえておいていただくとよいかと思っております。)

【その他】

- いずれも貴重なご意見をありがとうございました。善処していきたいと思っております。文化祭のバザーや模擬店については、PTA活動の一環でもありますので、PTA本部役員会等に意見は伝えていきたいと思っております。
- 「学校には気軽に相談できる雰囲気がある→△が25%」について。私達職員が保護者の皆さんが来校した際などに、積極的に話しかけたりして、保護者の皆さんにとって身近な存在になれるよう努めます。また、何よりも日常の授業や学級づくり、部活動などに一生懸命取り組み、皆さんに信頼されるように努めます。
- 「家庭・子どものケータイやスマホ、ネットゲームなどの使用について、家庭での約束事が決められている→△が23%」について。中高生のネットトラブルが頻発しています。これはお願いですが、本校が推進している「9ストップ、10オフ」運動(9時になったら止め、10時には電源を切る)をはじめ、家庭内でのルールづくりをお願いします。ネットトラブルやネット依存から子どもを守るためです。ぜひ。